

第 21 回理事会

2 月 18 日 午後 5 時 5 分～7 時 20 分

木下会長、三浦・吉本副会長、杉山専務理事、濱本・西村・弘山・小田・田中（義）各常任理事、武藤・萬・田中（豊）・田村・河村・柴山・城甲・茶川各理事、青柳・山本・武内各監事

協議事項

1 次期役員体制について

2 月 18 日開催の代議員会において役員選挙が執行されたのを受け、次期会長が理事のうちから常任理事及び専務理事の指名を行い、承認。

2 平成 22 年度事業計画について

提出の事業計画（案）について示し、各担当でさらに協議を行うことになった。

3 平成 22 年度予算（案）について

事業計画に基づき、予算編成をした。

4 山口県消化器がん検診研究会郡市代表者会議設立について

標記代表者会議を設立し、各郡市医師会の読影委員会の代表者による情報交換及び意見交換等を行うこととなった。開催時期は平成 22 年 8 月を予定。

5 臨床研修医との懇談会の開催について

4 月 3 日（土）に開催する懇談会の日程、議事内容、出席予定者について協議、承認した。

6 日本医師会代議員会質問事項について

4 月 2 日に開催される日医代議員会における質問事項（案）について協議した。

7 地域産業保健センター事業見直しへの対応について

地域産業保健センター事業の見直しが検討されており、平成 22 年度においても継続実施して行うにあたり、地域産業保健センター事業を県医師会で受託して行うことなど今後の対応について協議した。

8 県民公開講座の開催について

tys スーパー編集塾を活用し、県民公開講座を開催することを諮り、承認された。3月21日(日)、山口県立大学看護学部講堂において、最新のがん医療をテーマに開催する。

人事事項

- 1 山口県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会委員について
任期満了に伴い委員の推せんについて諮り、承認された。
- 2 山口県障害者介護給付費等不服審査会委員の推薦について
任期満了に伴い委員の推せんについて諮り、承認された。
- 3 山口労災保険診療委員会委員について
任期満了に伴い6名の委員の推せんについて諮り、承認された。

報告事項

- 1 自賠責医療委員会・山口県自動車保険医療連絡協議会(2月4日)
未解決事例2例について協議。引き続き自動車保険医療連絡協議会を開催。損調部会会員会社10社及び損保料率算出機構が出席、個々の未解決事例について処理結果・経過をそれぞれ報告。自動車事故医療における健保使用の留意等について協議を行った。(小田)
- 2 山口県自動体外式除細動器(AED)普及促進協議会・郡市医師会救急医療担当理事 合同会議
(2月4日)
県から平成21年度関係事業報告、消防法の一部改正に伴う傷病者の搬送及び受入にかかる山口県の対応について報告があった。また除細動器及びAEDの設置状況調査結果報告、AED・ACLSインストラクター登録者名簿の報告や現委員の任期満了(3月末)に伴うため再任依頼をし、了承された。(弘山)
- 3 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業第2回連絡協議会(2月4日)
専門医等派遣事業、モデル地域事業の報告があった。次年度も事業継続となる。(杉山)
- 4 第4回山口県後発医薬品使用促進連絡会議
(2月4日)

後発医薬品使用の現状、平成 22 年度の取り組み等について報告及び協議を行った。(西村)

5 第 2 回山口県動物由来感染症情報関連体制整備検討会(2月4日)

21 年度の動物由来感染症予防体制整備事業に係る検査結果報告があった。(田村)

6 医療政策シンポジウム(2月5日)

「国のありかたを考える - 平時の国家安全保障としての医療」をテーマに開催された。まず、唐澤日医会長の主催挨拶につづき、宇沢弘文東京大学名誉教授の「社会的共通資本としての医療」、元外交官・文筆家 佐藤 優氏の「日本国家のあり方と医療」等、3 題の講演があった。最後に佐藤 優氏、武見敬三氏による「世界の中の日本と社会保障のあり方」と題したパネルディスカッションが行われた。(杉山)

7 診療情報提供推進委員会(2月6日)

平成 21 年度、山口県医師会に寄せられた 56 件の相談窓口受付事例について説明。昨年の相談数と比べ、「医療機関の接遇」関係が減少し、「医療内容」関係が増加した。また、委員より相談内容を分析し、各医療機関へ情報提供するよう要請があった。(小田)

8 顧問弁護士・医事案件調査専門委員合同協議会(2月6日)

本年度に発生した事案及び過去発生し係争中の事案について、各弁護士からの経過報告、今後の検討を行った。また、医師会から提出した、「医療に関する諸問題」の質問に対して、顧問弁護士団から見解が報告された。(小田)

9 第 3 回日本糖尿病対策推進会議総会(2月7日)

日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会及び日本歯科医師会から各代表者の挨拶があり、つづいて事例報告があった。(田中豊)

10 おいでませ！山口国体・山口大会実行委員会 宿泊・衛生専門委員会「第 7 回医事衛生部会」

(2月8日)

各種衛生対策指針について説明があり、医療救護要領等の変更について審議を行った。(事務局長)

11 山口県看護協会との懇談会(2月9日)

訪問看護ステーションの現状と課題、日本医師会潜在看護職員再就業支援研修モデル事業の対応等についてディスカッションを行った。(西村)

12 日本医師会生涯教育推進委員会(2月10日)

日医生涯教育協力特別講演会の報告、セミナー「肺の生活習慣病：COPD」ほか12件の承認事項について審議を行った。このセミナーは3月13日(土)山口県医師会においても開催する。(木下)

13 日本医師会地域医療対策委員会(2月10日)

会長諮問の報告書案について最終審議をした。
(弘山)

14 都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会(2月12日)

地域産業保健センター事業の見直し及び日医認定産業医制度について説明があった。(小田)

15 女性医師参画推進部会第4回理事会

(2月13日)

関連する日本医師会、中国四国ブロックの会議報告後、女性医師就労環境提案グループほか各グループから、2年間の活動報告及び次年度以降への提案等について報告・説明があった。また、「女性医師参画推進部会」についての意見交換を行った。(田村)

16 日本医師会医療情報システム協議会

(2月13日～14日)

「医療のIT化、その先にあるもの - 光と影 - 」をメインテーマに2日間に亘り開催された。担当は奈良県医師会、参加者数は440名(関係者含む)。22年度は石川県医師会が当番県。

(田中義、柴山)

17 第115回生涯研修セミナー(2月14日)

特別講演として山口大学小児科学分野市山教授の「小児気管支喘息の病態生理と診療 update」、日本医師会飯沼常任理事の「日本医師会生涯教育制度について」の2講演があった。(杉山)

18 勤務医部会総会(2月14日)

沖田部会長、議長となり議事が行われ、小田副部会長及び小田常任理事より 21 年度事業報告が行われた。(城甲)

19 勤務医部会主催シンポジウム(2 月 14 日)

「地域における救急医療の現状と問題点、そして解決への道は？」をテーマに弘山常任理事の司会によりシンポジウムを行った。周南地域ほか 6 地域のシンポジストに講演をしていただいた。(城甲)

20 勤務医部会第 3 回企画委員会(2 月 14 日)

21 年度の事業報告を行い、22 年度事業計画、臨床研修医懇談会、市民公開講座、病院長へのアンケート、病院勤務医懇談会、勤務医ニュース、勤務医部会主催シンポジウム、勤務医師名簿について協議した。また、シンポジウムで取り上げたいテーマについて討議した。(城甲)

21 県政記者クラブとの懇談会(2 月 17 日)

取材に直接携わる現場記者の参加を得、政権交代と医療環境の動きについて等懇談した。(田中義)